

令和4年度

事業報告書

特定非営利活動法人 日本プール利用推進協会

1 事業の成果

令和4年度は、団体の活動を多くの人に知っていただくために広報事業に力を入れ、支援を得ることによってイベントを実施していった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 1,115,523 】円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
プール活動の広報事業	アモーレリフティング水中写真撮影会・写真展	8月21日・28日、11月21～27日	千葉国際総合水泳場・日本大学文理学部	3人	障がい者	7組	530,414
水中運動等研究事業	研究方法についての調査	随時	オンライン	4人	—	—	240,000円

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)

2022年度を終えて

4月に公式サイトが完成し、各種SNSなどでの発信を開始。
Facebook、Instagram、Twitterの運用をしながら、協会の知名度の向上やビジョンの発信に努めた。

5月～6月にかけてはプール活動の広報事業である「アモーレリフティング」開催の準備を開始、クラウドファンディングによって実施資金を集め実行するための必要な準備を進めた。

7月1日～31日までのクラウドファンディングでは、2日目にしてファーストゴールを達成、セカンドゴールも最終日の31日に達成し、70人の方から819,600円のご支援をいただいた。
主なご支援は理事・正会員の知人だったが、少数とはいえそれまで関わりのない方にまで活動を伝えることができたのは、資金獲得に加えて大きな成果だった。
またクラウドファンディングを実施する過程で「何のために行うのか」「どんなリターンが喜ばれるのか」などを理事の間で議論、正会員と共有し、自分たちが何をしていくかを改めて見つめ直すことができたのも、団体内にとって大きな収穫だったと言える。

クラウドファンディングと同時並行で、写真撮影の参加者も募集を行った。昨年のテスト撮影の方や理事・正会員の知り合いの方にお声がけして7組の方にご参加いただくことができた。

イベントや団体自体の知名度がまだまだ低いため参加者を集めるのには苦労したが、撮影に参加した方々は初めての体験にもかかわらずチャレンジしてくださり、その姿に撮影をさせてもらうこちらがパワーをいただいた。
また、クラウドファンディングで募ったサポートの方々も参加者を安心させ、安全に撮影が進むようにそれぞれが考え動いてくださり大変助けられた。
このようにして8月の撮影は事故などなく無事に終了した。
毎日新聞社の取材も入り、後日夕刊一面とウェブ版に掲載された。

その後、11月の写真展示に向けての準備を進めていった。サポートの方の繋がりでも当初予定していた日本大学文理学部以外で2つのイベントでの展示もさせていただくことができた。（ハンズオン東京他）

9月には、クラウドファンディング支援者限定のオンライン写真お披露目イベントを実施、5名の方にご参加いただき、撮影の裏話などを話しながら出来上がった写真を見て完成をともに喜んだ。

11月の日本大学文理学部の展示では、学生の方はもちろん大学で行われる催しで構内にきた方々や大学の職員・先生方、プール教室の保護者の方にも目にさせていただき、「こんな世界があるんですね」「いろんな人に目にさせていただきたい」などのご感想を直に聞くことができ、今後の活動の励みとなった。

1月からは次年度の計画を理事を中心となって策定、次年度のアモーレリフティングの関しても新たな形でチャレンジしていこうということになり、計画を現在進めている。
また、3月には8月アモーレリフティングでサポートして下さった大学教授の方が著書で当団体及びアモーレリフティングについて執筆してくださり、改めて自分たちの活動がどのような意味を持ちどのように捉えることができるのかを知る機会となった。

2023年度は、アモーレリフティングで得た支援や応援を糧としてそれ以外の事業（研究・提言）を進めていくとともに、ビジョン達成まで団体の活動が持続可能な形で行えるよう、団体の運営に関しても強化していきたい。